

考えるひとり∞ひとり～シュタイナー四大著作集中セミナー 第1期 受講応募申込書

氏名		
Email		@
アントロポゾフィーをいつ、どのようにお知りになりましたか？	いつ 例) 10年前	どのように 例) 新聞でシュタイナー教育の記事を見て
アントロポゾフィーに、どのような関心、魅力を感じていますか？	例) 人間性と言うことばを具体的に捉えられるところ	
今までに読んだシュタイナーの著作をお教え下さい	例) 自由の哲学 (三回くらい)、神秘学概論 (一回)、オカルト生理学 (一回)	
今までにアントロポゾフィーの講座で印象に残っているものは？	例) ○	有 (の場合は簡単に内容、講師名をご紹介願います) 例) シュタイナー教育に関するもの 講師 ○○氏

『自由の哲学』には「これっていったいなんなのか」に対する答えは書いてありませんが、「立ちどまる時」のための手引きが記されています。その時はひとりの人が「問う」時であり、その問いがどんな問いかを「知り」はじめるときです。

その問いに対する「答え」は『自由の哲学』にも書いてありませんし、どこを探しても見いだされません。ただ、問う人、意識して問うひとりの人に、ほかでもなくそのひとりからそのひとりへと開けてきます。

さらに、その答えは「これっていったいなんだろう」という、はじまりの問いを「解く」ことへの糸口と力をも含んでいます。そして、それを解くのも、ほかでもなくそのひとりです。

そのとおり、「立ちどまる」ことは生産的なプロセスのはじまりでありえます。そして、そのプロセスを捲らせるのは、アクティブな「考える」です。

そのようなプロセスを互いに促しあおうではありませんか、『自由の哲学』を手がかりに、考えるひとりひとりとして。前提はただひとつ、考えようとする人であることです。

講師 鈴木一博

Hannogi books seminar

後援：NPO法人日本アントロポゾフィー協会

考えるひとり∞ひとり

シュタイナー四大著作集中セミナー

(自由の哲学・テオゾフィー・いかにして高い世を知るにいたるか・神秘学概論)

第1期募集要項 (2010～2011)

日々の目まぐるしさのなかで
立ちどまっているときがある、
これっていったいなんなのかと

本を手に取り、読みすすめる、
もしかしたら・・・と

そして、また立ちどまっている、
その繰り返し、
いったいなんなのか、
この立ちどまっている時というのは

講座の内容

■ 講義（午前、午後・各1コマ）

アントロポゾフィーの核となる、シュタイナーの「自由の哲学」を自らに引き寄せて学ぶことを目指します。講義の中には、ディスカッションの時間を設け、ただ講義を受けるだけでなく、積極的に疑問や、質問、自らの思いを講座で共有し、机上の学びでなく、自らのところが通う学びを目指します。

「いかにして」の講義では、学びに欠かせない姿勢、あり方を実践的に学びます。テーマを絞り、ディスカッションや受講者同士のシェアリングを通じて、人を通して学びをより一歩深めることを目指します。

■ 研究発表

受講生を中心とした有志による研究発表を通して、自らが発信するというあり方を身に付けることを目指します。講師からの発信だけでなく、受講者を中心とした有志による発信を積極的に導入し、自らの職場や地域でアクティブに活動する力を養うことを目指します。

1 時限	10:00-12:00	講義 1 自由の哲学
昼休み	12:00-13:30	—
2 時限	13:30-14:30	講義 2 いかにして高い世をしるにいたるか
3 時限	14:40-16:00	研究発表／ディスカッション

■ 講師 鈴木一博

■ 日程：2010～11年 1年間で計10日間の集中講座

- ①2010年 9月26日（日） ②10月31日 ③11月28（日）
④2011年 1月30日（日） ⑤2月27（日） ⑥3月27（日）
⑦4月24日（日） ⑧5月29日（日） ⑨6月26（日） ⑩7月10（日）

■ 場所：NPO法人日本アントロポゾフィー協会事務局（東京都新宿区高田馬場）

■ 受講料：1年間10万円

（別途要教材費年間1万円以下。年間の受講料の分納対応可能）

■ 定員：10名

■ 応募方法

この要項を参照の上、受講希望の方は、

- 1、履歴書（簡略なもので結構です）
- 2、受講を希望するの理由（800字程度）
- 3、申込み用紙（4ページ）

計三点を、下記の申込先に、FAXか郵送、emailの添付ファイル(PDFfile等)にてお送り願います。

応募締め切りは8月31日（火）消印有効。

9月5日（日）までに受講の可否を郵送もしくはFAXにてお知らせいたします。

■ 申込み・問合せ

〒192-0375 東京都八王子市鍵水2-81-2-401（榛の木書房 澤口宛）

Tel/Fax：042-678-6401（澤口）

（Faxは24h対応。電話対応は夜20～22時）

Email：hannogibooks@gmail.com

考えるひとり∞ひとり～シュタイナー四大著作集中セミナー

(自由の哲学・テオゾフィー・いかにして高い世を知るにいたるか・神秘学概論)

第1期（平成22年10月～22年7月） 募集要項

21世紀も10年を過ぎ、40年近い日本のシュタイナー関連の活動の歴史が実を結び、教育、芸術、医療等の分野で様々な実践が日本各地で行われています。

実践の経験を経れば経るほど、日々の自らの研鑽、未来に向けての後継者の育成と、活動の理念や考えを継続的に学んでいく必要性が各所で生まれています。

シュタイナーの基本的な著作である、自由の哲学、テオゾフィー、いかにして高い世を知るにいたるか、神秘学概論をより一歩自分のものにしたいという方へ向けて集中的に学ぶ場を設けます。

講座は、鈴木一博による、20年以上に渡るシュタイナー著作の翻訳（今年中に四大著作を完訳予定）、言語造形家としての研鑽から語られるレクチャーと、そのレクチャーを踏まえたディスカッションを軸に、第1期は自由の哲学といかにしての2つの著作を取り上げ、テオゾフィーを副読本とします。また現在翻訳中の神秘学概論から講座の折々に神秘学概論の内容もピックアップする予定です。

また、受講者を中心とした研究発表の時間を毎回1時限設けています。発表とディスカッション、また言語造形の観点からの話し方のレクチャー等も含まれます。人前で話すことを仕事にされている方にはブラッシュアップの場に活用していただければともいます。

基本的には既にアントロポゾフィーを学ばれて、自らの職場などで実践的に活用されている方に向けて講義を作りこんでいますが、真摯なアントロポゾフィーの関心のある方でしたら是非受講していただきたいと思っています。

毎回の講義をビデオ撮影する予定ですので、やむを得ない欠席時等もビデオにて受講可能予定です。

アクティブな受講者をこころよりお待ちしております。

榛の木書房 セミナー企画スタッフ一同